



狛江市立狛江第五小学校だより 《学校の教育目標》 明るい子 考える子 強い子

がくとう

令和6年2月1日発行
校長 細谷 俊太郎
2月号 No.10

子供も大人も笑顔あふれる狛江第五小学校に

副校長 岩淵 美香

今年度のスタートに校長が「世界一通いたくなる学校」というスローガンを掲げました。私たち教員はもちろんのこと、子供たちにもすっかり浸透しています。誰かが通いたくなるようにしてくれるのではなく、自分たちに何ができるのか考え、そのために誰に働きかけ、どう実行するのかということ、子供たち自らが行動で示している姿にたくさん出会うようになりました。

しかし、学校はいつも楽しいことばかりがある場所ではありません。悲しい時や辛い時もあるでしょう。そのような時もポジティブにとらえた「笑顔」が困難を乗り越えるパワーになってほしいと思います。昔から「幸せだから笑うのではなく笑うから幸せなのである」(アラン『幸福論』より)という言葉もあります。

ある本に「笑顔」や笑いのメリットが書かれていました。

- ・免疫力がアップする
- ・最強のエイジングケアになる
- ・幸福度がアップする
- ・笑顔は周りに伝染する
- ・表情筋が刺激を受けポジティブな気持ちになる
- ・コミュニケーションがスムーズになる

「笑顔」は、「ドーパミン」や「セロトニン」など、人のモチベーションを上げるホルモンを分泌し、気持ちをポジティブにする効果があります。そして、人が決断をするとき、困難から這い上がろうと頑張るときには、「笑顔」が力を倍増してくれると科学的に証明されているそうです。(和田秀樹著 なぜか人生がうまくいく「明るい人」の科学 より)

「笑う門には福来る」は、「笑いが絶えない家庭には幸運が訪れる」という意味で使われます。家庭単位の意味が語源のようですが、個人単位でも同様の効果が「笑顔」にはあるということが分かります。他にも「笑って損した者なし」「和気財を生ず」という類語もあります。笑うことのメリットは、今では科学的に証明されていますが、過去の経験から昔の人も感じていたということでしょう。家庭単位、個人単位で同様なのであれば、学校単位でもそのメリットは生かされるはず。子供を取り巻く学校や家庭・地域に笑顔があふれるよう今後もご理解・ご協力をお願いいたします。

【2月の予定】

2日(金)新一年生保護者説明会	14日(水)集会	23日(金)天皇誕生日
5日(月)学年朝会(安全指導)委員会活動	15日(木)四中研究発表会 下校時刻12:45	26日(月)朝会 クラブ活動
11日(日)建国記念の日	17日(土)KoKoA ドッジボール	27日(火)保護者会(1、2)
12日(月)振替休日	19日(月)朝会 クラブ活動	28日(水)集会
13日(火)オリンピック派遣(6)	21日(水)飼育委員会発表集会	3月1日(金)6年生送る会 保護者会
	22日(木)校外学習(5) 保護者会(3、4)	

2月の生活目標：「力を合わせて係や当番の仕事しよう」

学校生活の中で子供たちは様々な仕事をしています。日直、当番、係、高学年になると委員会活動も入って、一人で何役もこなしています。学校や学級の一員として責任をもって仕事を行うことは、社会に出てからも役立つ大切な力になっていきます。

同じ係や当番の友達と声を掛け合い、協力して取り組むことも大切です。一人一人が力を合わせてみんなのために努力することで、大きな達成感が得られるものです。また、自分たちの仕事が他の人から感謝されるという経験は、その後のやりがいや意欲につながります。ぜひご家庭でも自分の役割を頑張っているか声をかけていただければと思います。

(生活指導委員：榮 有紀子)

【書き初め展 感想】

書写の時間に、書き初めをしました。書き初めをした感想や、他学年の書き初めを見た感想を書いたり発表したりしました。その一部を紹介します。

(1年)

- ・漢字を上手に書くことが難しかったけど、家で練習しているときにお母さんが「上手だね」と褒めてくれてうれしかったです。(K.H)
- ・6年生の字が上手でかっこよかったです。まだ先のことだけれど、自分も6年生になったらその時の1年生に「すごいな」と思われるような字を書きたいと思いました。(H.I)

(2年)

- ・高学年になればなるほど字が上手でした。特に、三年生からは筆で書いていたので難しいだろうなと思っていたけれど、みんな上手でした。(S.H)
- ・高学年になるほど「とめ・はね・はらい」や「まがり」を意識して、丁寧に書くことができているすごかったです。(K.S)

(3年)

- ・6年生の作品が心に残りました。みんな大きな字で丁寧に書いてあって、わたしもこれくらい丁寧に書きたいと、心を動かされました。(E.A)
- ・一年生の字は、はじめての書き初めなのにしっかり書いておどろきました。また、いろいろな個性があり、とてもかわいかったです。(K.C)

(4年)

- ・2年生は、字がまっすぐでバランスよく、がんばって書いた気持ちがものすごく伝わってきました。(K.M)
- ・3年生は「とめ・はね・はらい」が上手にできていて、自分たちが3年生の時よりも上手だと思いました。自分も「がんばらなくちゃな」と、思いました。(O.M)

(5年)

- ・私は、他学年の書き初めを見て特に6年生の書き初めで上手な人が多い印象でした。私も来年は最高学年として下級生の見本になるように頑張りたいと思いました。(S.M)
- ・私は、冬休みにお父さんと水書道でたくさん練習し、一日かけて作品を完成させました。学校で書いたら、家で書いた字よりも上手に書くことができ、うれしかったです。(K.H)

(6年)

- ・字のバランスや「とめ・はね」を意識して書きました。小学校生活最後の書き初めだったので書き終えた時にはちょっと寂しい気持ちになりました。(N.Y)
- ・他の人たちの作品を見てみると、人それぞれ上手く書けているところや個性があることに気付きました。「いろいろな作品があってどれもいいな」と、思いました。(T.M)

コミュニティ・スクール通信

毎月、狛江市教育委員会が発行している「コミュニティ・スクール通信」にアクセスできますので、ぜひ御覧ください。

